



2023年2月14日

各位

会社名 株式会社 グラフィコ  
代表者名 代表取締役社長CEO 長谷川 純代  
(コード番号:4930 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役 CFO 兼管理本部長 榎並 正太郎  
(TEL. 03-5759-5077)

### 2023年6月期第2四半期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2022年8月12日に公表いたしました2023年6月期第2四半期（累計）業績予想と、本日公表の実績値において差異が生じたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2023年6月期第2四半期（累計）業績予想値と実績値の差異（2022年7月1日～2022年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	2,398	150	138	93	100.38
実績値（B）	2,893	249	245	169	182.07
増減額（B－A）	495	99	107	76	
増減率（％）	20.7	66.6	77.9	82.7	
（参考）前期第2四半期実績 （2022年6月期第2四半期）	2,212	255	257	178	192.03

#### 2. 修正の理由

当第2四半期累計期間においては、「ハウスホールド」の主要ブランドである「オキシクリーン」において一部商品の販売価格改定を実施したものの、プロモーション強化やつめかえ用のリピート需要獲得により売上が大幅に伸長したことに加え、フェムテック・フェムケア市場でのプロモーション強化により、「ビューティケア」の「ウィズフェム」の売上が前期に引き続き伸長いたしました。その結果、売上高が前回公表の業績予想を大きく上回ることになりました。

また、仕入価格の上昇及び急激な円安、輸送コストの増加の影響を受け売上総利益率は低下いたしました。また、原材料費・輸送費の高騰や急激な為替変動などの外的環境変化に、迅速に対応できる体制への利益構造

改革を実行し、主に物流関連費と一般経費においてコスト削減効果を実現いたしました。その結果、営業利益、経常利益および四半期純利益は前回公表予想を大きく上回ることになりました。

なお、通期の業績予想につきましては、引き続き原材料・海上輸送費の高騰および円安による輸入品の仕入価格の高騰の可能性もあることから、現時点では2022年8月12日公表の業績予想を据え置くこといたします。今後業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかに公表いたします。

以 上